

令和5年度事業報告

2023年は、大企業での賃上げや、新型コロナウイルス感染症法上の5類移行、価格改定行動による店舗における小売り価格の上昇など、デフレ脱却につながる変化が見られた年でした。我々も、株式会社METRO PLUSを立ちあげ、IT会社と書店を融合し、新たな挑戦を始めたスタートの年となりました。ただ、日本を取り巻く環境は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷と言った悪材料だけでなく、何よりも米国の政策金利引き上げの影響もあり、大幅な円安が進行し、景気回復を遅らせている一因にもなっております。

さて、そのような状況下、書店部門は、低迷する売上や、最低賃金のアップ、物価や必要経費の上昇、更には書籍にはその上昇分を販売価格に転嫁できないという構造的な問題もあり、苦しい状況下にありましたが、利益確保の為に、熊本本店の減坪やセルフレジの利用促進など、スリムな経営体質を目指しました。

システム開発部門の既存システムとしては、10月からスタートしたインボイス制度関連の開発案件が多数あり、又、POS導入なども予定通りにすすんだ事から、売上増となりました。新規に取り組んでいるAIについては、従来の学習方法を改め、より精度をあ

---

げる方式での学習に変更をしました。

カレッジ部門は、学生募集範囲を佐賀県までエリアを増やした事と、離島への募集活動を強化した事で学生が集まり、システム開発部門同様、売上増となりました。

海外事業は、引き続きミャンマーで、IT と日本語の教育を行うカレッジ運営を再開して1年以上がたち、従来ほどではないですが、学生の確保は確実に上向ってきております。

事業全体としては、システム部門とカレッジ部門の増収により、書店部門の売上をカバーし、METRO PLUS としてスタートした効果が出た年となりました。